

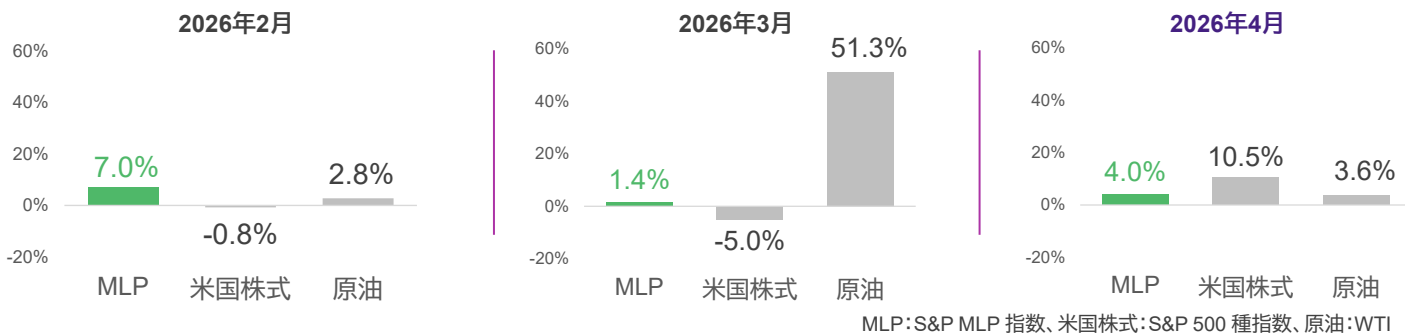
当月のS&P MLP 指数の動き

4月のS&P MLP 指数(米ドルベース/トータルリターン)は、前月末比+4.0%と4か月連続での上昇となりました。

米国とイランが2週間の停戦で合意したことなどを受け、原油先物が大きく下落したことなどを背景に、MLPは月初から中旬にかけて下落基調となりました。しかしながら、その後は、米・イラン交渉の長期化懸念の拡がりとともに原油先物が上昇に転じたことや、企業決算などが好感され米主要株価指数が最高値を更新したことなどを背景にMLPは月末にかけて上昇基調となり、S&P MLP 指数が最高値を更新しました。

過去3カ月の主要指標の月次騰落率

(米ドルベース、トータルリターン)



主要指標の動き

休場の場合は、直前の営業日のデータを使用	指数値	指数値	指数値	指数値	騰落率		
	当月末	前月末	3か月前月末	前年末	1か月	3か月	前年末比
	2026/4/30	2026/3/31	2026/1/31	2025/12/31			
S&P MLP 指数(米ドルベース)							
トータルリターン	12,264.91	11,790.62	10,867.48	9,966.65	4.0%	12.9%	23.1%
プライスリターン	2,091.27	2,016.53	1,882.30	1,735.11	3.7%	11.1%	20.5%
S&P 500種 指数(米ドルベース)							
トータルリターン	16,088.56	14,560.75	15,441.15	15,220.45	10.5%	4.2%	5.7%
プライスリターン	7,209.01	6,528.52	6,939.03	6,845.50	10.4%	3.9%	5.3%
S&P 500種 エネルギー株指数(米ドルベース)							
トータルリターン	2,177.05	2,255.17	1,866.59	1,631.23	-3.5%	16.6%	33.5%
プライスリターン	910.23	943.30	786.14	687.34	-3.5%	15.8%	32.4%
S&P 米国 REIT 指数(米ドルベース)							
トータルリターン	2,153.24	1,974.81	1,941.32	1,883.85	9.0%	10.9%	14.3%
プライスリターン	394.94	362.64	359.55	349.46	8.9%	9.8%	13.0%
米国ハイイールド債(ICE BofA 米国ハイイールド・インデックス(米ドルベース))							
トータルリターン	1,888.40	1,856.80	1,876.05	1,867.06	1.7%	0.7%	1.1%
プライスリターン	69.63	68.84	70.34	70.38	1.1%	-1.0%	-1.1%
米国10年国債利回り							
	4.37%	4.31%	4.23%	4.16%	0.1%	0.1%	0.2%
原油(WTI) 米ドル/1バレル当たり							
	105.07	101.38	65.21	57.42	3.6%	61.1%	83.0%
天然ガス先物 米ドル/百万btu当たり							
	2.77	2.88	4.35	3.69	-4.1%	-36.4%	-24.9%
米ドル(対円)							
	156.59	158.72	154.78	156.71	-1.3%	1.2%	-0.1%

信頼できると判断したデータをもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成

※「米国10年国債利回り」の騰落率は、変化率(%)ではなく、利回りの変化幅を示しています。

●上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

当資料は、アモーヴァ・アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

当月の出来事いろいろ

- ・トランプ米大統領は1日の演説で、対イラン軍事作戦について、核開発計画の無力化などの目標がほぼ達成しつつあるとしながらも、終了時期を明言せず、2～3週間は猛攻を継続する考えを示した。また、その間に同国との協議が合意に至らない場合、エネルギー施設などを標的とする可能性を示唆したほか、ホルムズ海峡については、紛争が終われば自然に開放されると述べた。原油先物が急反発し、2日のWTI原油先物は、1バレル＝111米ドル台と、2022年6月以来の高値で引けた。
- ・トランプ大統領は7日、イランがホルムズ海峡を即時に開放することを条件に、同国への大規模攻撃の2週間停止に同意したとSNSに投稿した。8日には、パキスタンの首相が、米国とイランが即時停戦で合意し、紛争の恒久的な解決に向け、10日にパキスタンの首都イスラマバードで協議する予定になったと明らかにした。これを受けて、原油先物が急落した。
- ・17日、イランの外相は、イスラエルとレバノンの10日間の停戦期間中はホルムズ海峡を開放するとSNSに投稿した。これを受け、原油先物が急落し、米国株が上昇した。WTI先物は83米ドル台と、3月10日以来の安値で引けた。
- ・イランの大統領報道官は18日の声明で、ホルムズ海峡を再び封鎖したことを明らかにした。また、イランの国営通信は19日、同国が米国との協議の再開に向けた交渉を拒否したと報じた。一方、トランプ大統領は19日、米軍がイラン船籍の貨物船を拿捕したことを明らかにしたほか、米代表団が20日夜にパキスタン入りし、イランとの再協議に臨むとした。20日には、米軍によるイラン船籍の拿捕を受けて原油先物価格が急反発した。
- ・29日、米国では、FRB(連邦準備制度理事会)が市場予想通り、政策金利の据え置きをFOMC(連邦公開市場委員会)で決めた。株式市場では、金融政策の先行き不透明感などを背景に、主要3指数がマチマチとなった。WTI先物は106米ドル台と、4月上旬以来の高値で引けた。

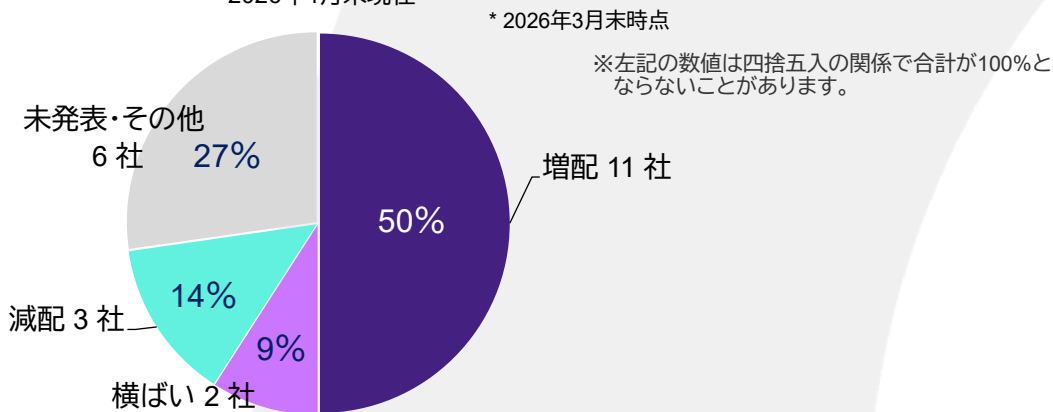
今後の注目点

- ・ 2026年1-3月期のMLPの決算発表が注目される。

MLPの分配金動向

MLP各社は決算発表に先立ち、その期の分配金を発表するのが一般的です。4月から公表が始まっているMLPの2026年1-3月期の分配金は、指数構成銘柄(22銘柄、2026年3月末時点)のうち、16社の発表が終了しており、前年同期比での増配が11社、横ばいが2社、減配が3社となっています。

<S&P MLP 指数の構成銘柄*の分配金額(前年同期比)の動向>
2026年4月末現在



信頼できると判断したデータをもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成

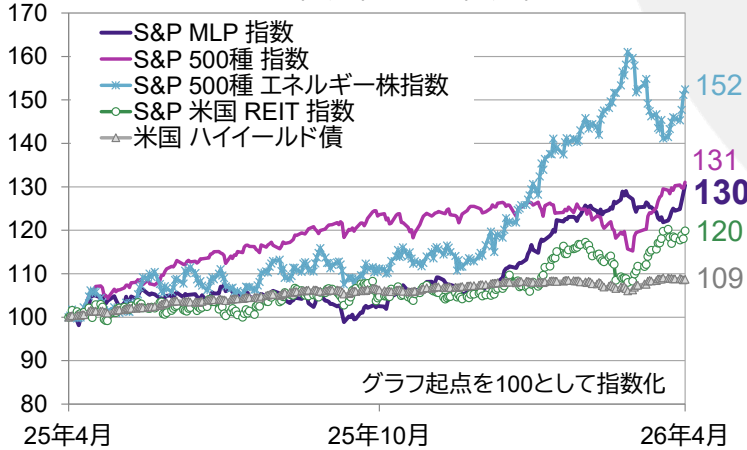
●上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

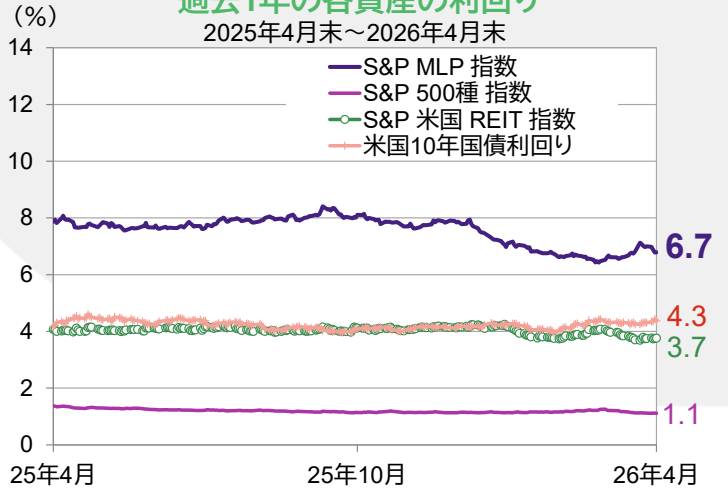
アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

当資料は、アモーヴァ・アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

過去1年の指数の推移 (米ドルベース/トータルリターン)
2025年4月末～2026年4月末



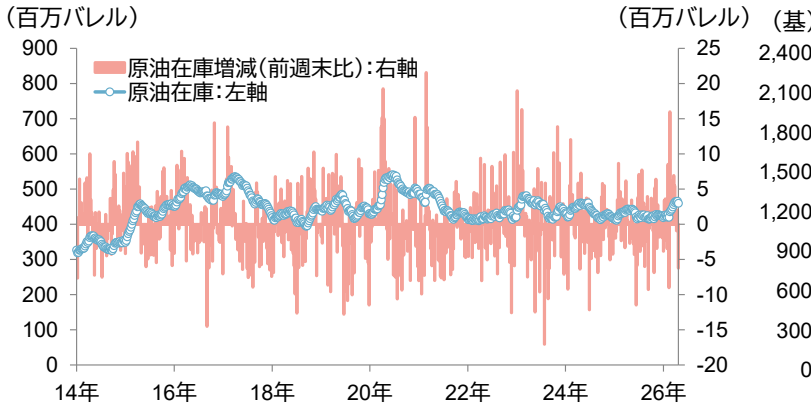
過去1年の各資産の利回り
2025年4月末～2026年4月末



※各資産のリスク特性はそれぞれ異なるため、利回りだけで比較できるものではありません。
※上記利回りは切り捨てにて端数処理しています。

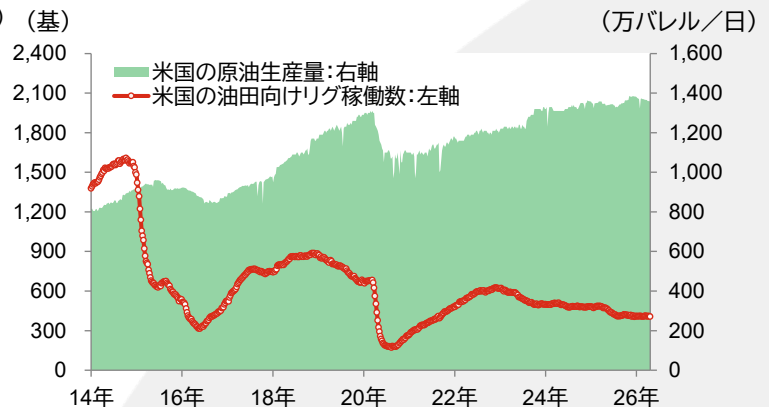
米国の原油在庫

2014年1月第1週末～2026年4月第4週末



米国の原油生産量と油田向けリグ稼働数

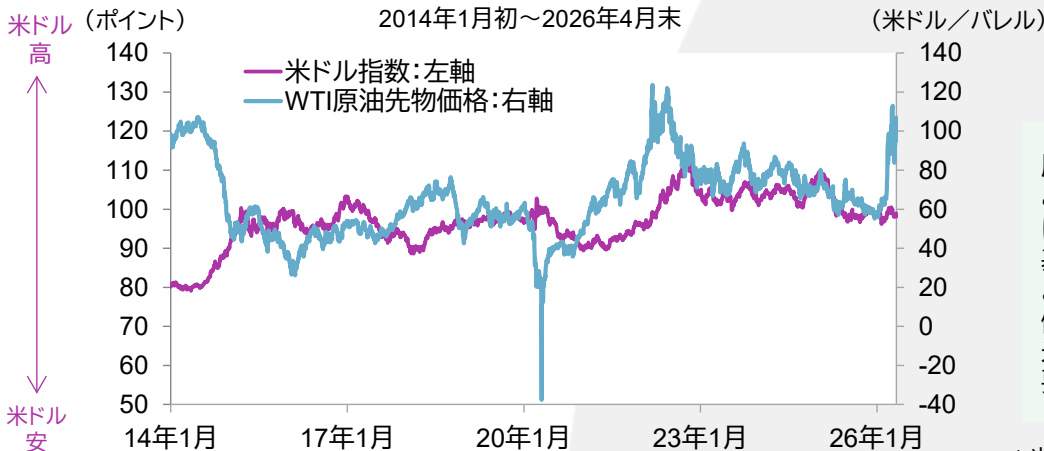
2014年1月第1週末～2026年4月第4週末



原油価格は、原油需給の影響を大きく受けます。一般的に、原油在庫が増えれば(減れば)、需給緩和と懸念(引き締め期待)から、原油価格は下落(上昇)する傾向がみられます。また、油田向けのリグ稼働数が増え(減り)、原油生産量が増える(減る)と、需給緩和と懸念(引き締め期待)などから、原油価格は下落(上昇)する傾向がみられます。

原油価格と米ドル指数*

2014年1月初～2026年4月末



原油は、米ドル建てで取引されることから、米ドル相場の影響を受ける傾向がみられます。米ドル安基調に振れる場合、割安感などにより、原油価格に押し上げ圧力が働く可能性が考えられることから、米ドル相場の動向には注視が必要です。

* 米ドル指数は主要通貨に対する米ドルの水準や動きを示す指数です。

信頼できると判断したデータをもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成

●上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

※当資料に示す各指数の著作権等の知的財産権その他一切の権利は、各指数の算出元または公表元に帰属します。

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

当資料は、アモーヴァ・アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。